

目 次

1	計画策定の目的及び背景	1
2	保護管理すべき鳥獣の種類	1
3	計画の期間	1
4	計画の対象とする区域	1
5	保護管理の目標	2
(1)	現状	2
	生息環境	2
	ア 地形	2
	イ 気候	2
	ウ 鳥獣保護区等	2
	エ 森林	2
	オ 植物群落	3
	(ア) 草本群落	3
	(イ) 森林群落	3
	(ウ) 不嗜好植物	4
	(エ) 群落の配置	4
	カ 耕作放棄地	5
	キ 漁業	5
	生息動向及び捕獲状況	5
	ア 一般的生態及び食性	5
	イ 牡鹿半島個体群の生態及び食性	6
	(ア) 体のサイズ	6
	(イ) 歯	6
	(ウ) 腎脂肪	6
	(エ) 胃内容物	6
	(オ) 妊娠率	7
	ウ 生息分布	7
	エ 生息数・生息密度	7
	オ 捕獲状況	8
	被害及び被害防止状況	9
	ア 被害状況	9
	イ 被害防止状況	9
	ウ 狩猟者の推移	9

(2) 保護管理の目標	10
管理地域区分	10
保護管理の目標	10
(3) 目標を達成するための基本的な考え方	10
6 数の調整に関する事項	11
(1) 個体数調整の考え方	11
(2) 個体数管理の方法	11
狩猟期間の延長	11
狩猟頭数制限の緩和	11
特例休猟区の活用	11
狩猟者の確保	11
わな猟の技術向上と普及	12
自己防衛体制整備の検討	12
7 被害防除対策	12
8 生息地の適正管理	13
9 資源活用及び残渣の適正処理	13
10 その他保護管理のために必要な事項	14
(1) 広域連携	14
(2) 調査研究	14
狩猟による捕獲頭数等の把握	14
有害鳥獣捕獲による捕獲頭数等の把握	14
被害状況の把握	14
生息状況の把握	14
(3) 計画の検証	14
(4) 計画の推進体制	14
資料(表・図・グラフ)	15～27
参考文献等	28
写真	29～33